



令和4年5月1日

通巻 229 号

発行

東京銚螺協同組合

東京都墨田区押上 1-32-12

TEL. 03(3613)4141



### 「60 マイルの旅 スタート」

撮影場所：アメリカ カリフォルニア州 サンディエゴ  
自転車レース Granfondo San Diego

撮影日：2019年4月7日午前7時10分

撮影者：ボルト・サトウナベ(株) 佐藤知志 氏

### 目次

巻頭言	
「副理事長就任にあたってのご挨拶」	
副理事長 竹内則康	2
第六十二回通常総会議事録	2
常設委員会 事業計画	4
委員会だより	4
流通経営委員会	4
福利厚生委員会	5
昌栄青和会だより 会長 高松秀明	6
泰銚会だより 代表幹事 金枝総吉	8
組合の会議から	8
計報	8
新組合員紹介	
日本ケミカルスクリーユー株式会社	9
情報室 広報委員 大西範彦	9
表紙の言葉	
ボルト・サトウナベ(株) 佐藤知志	10

# 就任挨拶



## 副理事長就任にあたってのご挨拶

株式会社竹内工業所 代表取締役社長 竹内 則 康



このたび副理事長を拝命いたしました。馬場理事長をはじめ組合員の皆様にはこれまで以上にお世話になりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事としては約十七年、主に事業委員会に所属していましたが、これといった成果を上げることも出来ず、その委員会も総務委員会に統合になり、この数年間は無役の理事として組合のお役に立つことができませんでした。

そのような折に組織改革小委員会のメンバーの一人に加えていただきました。小委員会ではいろいろな議論をしている中で、各支部はそれぞれ歴史を築きながら、長年にわたり培ってきた個性を持っていることに改めて気づかされました。組合はそれを支える役目があると思っています。

副理事長が二人から三人に増えました。その狙いは、職務分担をして個々の負担の軽減を図り、組合員の誰でもが役割を担ってもらえる組織にすることです。そして、人員や機能も含めて事務局の今後の在り方を考える体制づくりも必要です。

石川さん新保さんお二人のベテラン副理事長がいらっしゃるので、もつと若手の方に三人目の副理事長をお任せするべきと思っておりますが、これもひとつの縁と考えて努力していく所存です。



## 第六十二回 通常総会議事録

二月十七日に東鉄会館にて、第六十二回通常総会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、当日の出席者を馬場理事長以下総務委員会メンバー、酒巻監事、事務局に限定しました。その議事録を掲載いたします。

### 一. 総会の種類 第六十二回通常総会

二. 開催日時 令和四年二月十七日 午後四時〇〇分

三. 開催場所 東鉄会館

四. 組合員総数 一四七名

五. 出席組合員数 一〇七名(書面出席及び委任状を含む)

### 六. 議長選任の経過

定刻、大足事務局長が司会者となり開会を宣し、後、本日の通常総会は法定数を満たしたので有効に成立せる旨を告げ、続いて新保副理事長の開会の辞、馬場理事長の挨拶があり、終つて司会者より議長選出の方法について諮ったところ、満場一致をもって、馬場美由紀氏を議長に選任した。続いて議長挨拶の後、議案の審議に入った。

### 七. 議事の経過の要領及びその結果

#### ◇第1号議案 令和三年度事業報告承認の件

本件については、議長指名により別紙総会資料をもとに、大足事務局長をして詳細説明をなさしめ、後、議長よりこれが承認を議場に諮ったところ満場異議なく原案通り可決決定した。

#### ◇第2号議案 令和三年度決算報告承認の件

#### ◇第3号議案 令和三年度剰余金処分案承認の件

議長より、まず2、3号議案は関連あるので一括上程したい旨を諮り承認を得たので、議長指名により小口財務委員長が別紙資料にもとづいて詳細説明を行ない、続いて議長指名により監事を代表して酒巻監事が監査の結果その内容の正確なること

を議場に報告、終つて議長が承認を求めたところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

◇第4号議案 令和四年度事業計画案承認の件

議長指名により、担当委員会各委員長が別紙総会資料にもとづいて詳細説明をし、後、議長よりこれが承認を求めたところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

◇第5号議案 令和四年度収支予算案・経費の賦課金額及び徴収方法決定の件

議長指名により、片山財務副委員長が別紙総会資料をもとに収支予算案の説明を行い、次いで予算構成の骨子となる賦課金額並びに徴収方法について詳細説明をし、後、議長よりこれが承認を求めたところ満場異議なく原案通り可決決定した。

◇第6号議案 令和四年度役員報酬決定の件

議長指名により、片山財務副委員長より原案として、令和四年度の役員報酬は支給しない旨を議場に諮り、後、議長よりこれが承認を議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

◇第7号議案 組合借入金最高限度額決定の件

議長指名により、片山財務副委員長より原案として、令和四年度組合借入金最高限度額を1億円と致したく議場に諮り、後、議長よりこれが承認を求めたところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

◇第8号議案 定款一部変更の件

議長指名により、石川組織改革小委員長が「定款変更理由書」及び「定款中の変更しようとする箇所を記載した書面(定款変更条文新旧対照表)」に基づき詳細に説明し、後、議長よりこれが承認を求めたところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

◇第9号議案 定款変更認可申請における字句の一部修正委任の件

議長指名により、石川組織改革小委員長より定款変更認可申請に当たつて、本文の趣旨に反しない字句の修正を代表理事に一任することを諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

\*第8号議案 「定款一部変更」内容は、

①副理事長を1名増員する。

②反社会的勢力の排除規定を加える。

過日お送りした「総会資料」に変更理由の詳細を記載しております。



理事長 馬場美由紀氏



総会の様子

## 令和 4 年度

## 常設委員会 事業計画

## ◇流通経営委員会

- (1) 経営セミナー、研修会を実施する。
- (2) 日本ねじ商連取扱事業の「ねじ流通商社経営実態調査」を実施する。
- (3) 委員会活動を中心に、専門的分野より情報交換等を積極的に推進し、流通機構の確立と安定を図る。
- (4) ねじ流通に関する諸問題を中心に、関連メーカー及びメーカー団体との懇談会を実施し、情報の交換と協調を図る。(東部フアスナー協組との懇談会を予定)
- (5) ねじ流通商社経営実態調査のランク別集計を行う。

## ◇福利厚生委員会

- (1) 組合員及び従業員とその家族を対象としたレクリエーションを実施する。
  - (2) 支部対抗ボウリング大会を実施する。
  - (3) 組合員の慶弔。
- なお、懇親旅行会は、実施しない。

## ◇規格委員会

- (1) J I S ねじ制定及びその見直しに関し、日本ねじ商連の依頼を請け、業者代表として日本ねじ研究協会へ専門委員として参加協力を行う。
- (2) 組合員のため、J I S ねじに関する資料の配布及びその周知を行う。
- (3) J I S 関連規格図書 of 組合常備及び共同購入に関する斡旋を行う。
- (4) 2022 年版「ねじ総合カタログ」の編集、発行を行う。
- (5) ねじ製品一覧「ポスター」・「下敷き」の頒布取扱を行う。

- (6) 組合ホームページに規格改正情報を掲載する。

## ◇広報委員会

- (1) 組合員のため組合事業・業界の動向に関する周知とその徹底を行う。
- (2) 組合機関紙「東鉾」の編集を行う。  
東鉾 年 3 回発行 (新年号、5 月 1 日号、9 月 1 日号)

\*今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、止む無く中止又は延期となる事業もあります。

## 委員会だより

新型コロナウイルスの状況次第ではありますが、現時点で決定している事業について掲載します。

## 流通経営委員会

- (1) 流通経営セミナー
  - ① 第 1 回 (理事会終了後)  
開催日 7 月 7 日 (木)、午後 6 時～7 時 30 分  
講師 文京区役所の方  
テーマ 「介護における現状と問題点等について」
  - ② 第 2 回 (理事会終了後)  
開催日 11 月 1 日 (火)  
テーマ 6 月の委員会決定する。

(2) 社員向け勉強会（理事会の前）

開催日 9月13日（火）、午後2時～4時

テーマ 「電子帳簿保存法及びインボイス制度について」  
対象者 経理部門の方

\*セミナー、勉強会とも三密回避の観点から東鉾会館の定員を30名程度とし、「弁当は無し、会費無料」、同時にオンライン開催を予定。

(3) 10月25日に東部ファスナー協同組合との流通懇談会を実施する。

### 福利厚生委員会

### ● 支部対抗ボウリング大会

開催日 10月15日（土）午後4時30分より

場所 品川プリンスホテル

「ボウリングセンター」

\*なお、新型コロナウイルス対策として、  
各支部（1レーン）3名参加の予定です。



### ● 劇団四季ミュージカル

### 「アナと雪の女王」の鑑賞（S席鑑賞券）

実施日 11月12日（土）、12時30分より開演の部

会場 四季劇場「春」（港区海岸一丁目一〇一四五）

会費 1名 7千円

定員 120名（1社2名）

案内 9月中旬



# 昌栄青和会だより

## WITHコロナと昌栄青和会

会長(株)高松商店 高松 秀明



本年度、第五十五回昌栄青和会一月定時総会は政府よりの「まん延防止等重点措置」適用のため、感染拡大・医療逼迫の回避を重視し、昨年同様、書面での決議(書面総会)し、委任状及び書面決議にて、すべての議案について、過半数の賛成をもって令和四年一月二十九日にて可決成立されました。

なお、現在の状況を鑑み役員等については留任となりました。東京鋳螺協同組合昌栄支部の二世会であり、昌栄青和会は現在、七名で構成されております。

東京鋳螺協同組合主催の勉強会やNOST通じて他支部様と当会メンバーとで触れる機会があります。そこで、さらに深めていただきたいという事で、今回は当会より、三名、質問形式にてピックアップ紹介していききたいと思います。

『東京リベット有限会社 常務取締役 清水雄一』

昭和五十四年生まれ当会七年目 規格委員会所属 当会副会長

【経歴】※入社以前の職歴と入社後の職務経歴

千疋屋総本店 勤務(前職) その後弊社協力工場での研修

【業界に期待すること】

近年ネジを使って締結する商品が減少している傾向がありますが、まだまだネジは生き続ける商品だと思っています。その中でお客様がより便利に、使いやすい商品が開発され求められている商品を提供出来るような業界になって欲しいです。

【昌栄支部青和会に期待すること】(良いところ)

皆様しっかりと考えた考えを持ち、意見を出し合い時にはぶつかり合う事もあり、とても仲間意識が高く仲の良い会だと思っています。

【会社概要(取扱製品等)】

設立当初から真鍮六角ナットを中心に、真鍮加工品を取扱。

【沿革】

昭和三十二年 東京リベット有限会社設立、真鍮ナットを中心に販売。

昭和四十六年 ステンレス製品を揃える。

昭和四十九年 真鍮・ステンレス化粧ワッシャーの製造販売。

昭和五十五年 ユリア化粧ネジ販売を始める。

【趣味】

子供と一緒にサッカーをやる事。

【新型コロナが終息したらやりたい事】

「旅行に行きたいですね!」のんびりと温泉につかり、お酒を飲みながら、ゆっくりと過ごしたいです。

【組合や業界の今後課題】

どの支部様でも同じかと思われませんが、年々組合人数が減り始め厳しい状況であると思います。その中でも皆さん助け合い協力しあって歴史のあるネジ業界を盛り上げていかなければいけないでしょう。次の世代に繋げられるような組合を残していきたいと思います。

『株式会社 杉山商店 杉山真一』

昭和六十一年生まれ当会十年目 規格委員会所属 当会会計

【経歴】※入社以前の職歴と入社後の職務経歴

出版物のPRサイト等のWEB製作会社に勤めておりました。(前職)

昨年より、規格委員会に参加させていただき、ねじカタログ作成に、携わらせていただいております。

【なぜ業界(同社)に入ったか】

学生時代は家業に対して敬遠気味でありましたが、別の畑で社会に出てみて、長年にわたって最前線にいたっている、お得意様のありがたなどを痛感し、入社することを決めました。

【昌栄支部青和会に期待すること】(良いところ)

弊社は規模も小さいので、年齢の近い同業者と関係が持てることは、とても有難いです。会社の規模や取扱の品種も十人十色で、話の一つ一つを参考にさせていただいております。

【会社概要（取扱製品等）】

各種標準規格のねじ類、機械工具類、NC・旋盤加工などの特殊加工品などを取り扱っております。

【趣味】

収集癖があり、現在はスニーカーに埋もれて生活しております。

【新型コロナ前には続けてきた事】

少しでも多く、お得意先へ足を運ぶように心がけておりました。

【新型コロナが終息したらやりたい事】

コロナ渦中は、展示会などのイベントや集まりへの参加がほとんど止まってしまいました。今後の営業活動する上でのアイデアや、商材のバリエーションの検討の為に、積極的に様々なイベントへ参加していきたいです。

【組合や業界の今後課題】

昨今、材料をはじめとして様々なモノの価格上昇が止まらない、いつ安定するかも読めない状況です。今後商売を続ける上で、より一層の工夫が必要になると感じております。組合活動等を通して知り得たことを、どのように工夫していくか試行錯誤を重ねていければと思います。

『有限会社 日進鋳螺 代表取締役 篠田善明』  
昭和三十七年生まれ 当会二十九年目 広報委員会所属 当会会計監査

【経歴】※入社以前の職歴と入社後の職務経歴  
ソフトウェア開発会社（前職）

【なぜ業界（同社）に入ったか】  
父の意志を継ぐため。

【業界に期待すること】

新型コロナ禍で冷え込んでいる景気の回復。

【昌栄支部青和会に期待すること】（良いところ）  
会員の絆の強さ。

【会社概要（取扱製品等）】

JIS規格商品のボルト・ナット関連商品。あと施工アンカー等の、ファスニング関連商品。機械工具関連商品。

【趣味】

スキー、トレッキング等

【新型コロナ前には続けてきた事】

食べ・飲み歩き、趣味（トレッキング等々）

【新型コロナになってできなくなった事】

食べ・飲み歩き、趣味（スキー・トレッキング等）

【新型コロナが終息したらやりたい事】

食べ・飲み歩き、趣味（スキー・トレッキング等）

【組合や業界の今後課題】

原材料価格高騰に伴う適正価格での販売。

当会は支部直轄で構成される唯一の組織として、昭和四十二年、鋳螺昌栄支部の二世会として誕生しました。

会員は、会社においては、皆第一線で活躍しているものばかりであり、そして、業界の次代を担って行く後継者を養成している会でもあります。会則の基本である和を持って会を運営する方針により、会の活動を通じて親睦を深めると共に自身の能力の向上に努めています。令和四年一月から実施されていたまん延防止等重点措置は、同年三月二十一日をもって全ての都道府県で終了しました。

当会は終了後も引き続き、感染拡大の防止への協力してまいります。



# 泰鉾会だより



代表幹事 (株) 鉾定本店 金 枝 総 吉

今年度の泰鉾会代表幹事を仰せつかりました(株)鉾定本店・金枝です。会計幹事に平和螺子工業(株)・張ヶ谷氏、庶務幹事に(株)浦山・三井氏の三名体制でこの一年間泰鉾会の運営を行ってまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

令和二年一月に国内にてコロナ患者が発生し、以来感染爆発、収束を繰り返し、当泰鉾会においても多くの企画が自粛を余儀なくされ二年が経過しました。現在、ほぼオミクロン株に置き換わり重症化率が低いことから安堵感も出始めているところではあります。デルタ・クロン株という新しい株の発生が報道されたばかりで、先行きはなかなか見通せない状況です。またロシアによるウクライナ侵攻が始まり、世界情勢が一段と不安定となり、現時点においても材料不足や価格高騰に悩まされる中、今後我々の業界にどのような影響が起きるか危惧しております。

しかし、このような状況下だからこそ、泰鉾会という同じ課題や悩みを持つ仲間が集まり、意見を交わすということは会員にとつてまさにどれだけ励まされ、勇気づけられることだろうと思ひます。

残念ながら本年の二月四日に予定しておりました総会及び新年会は、まん延防止等重点措置が適用され、総会延期、新年会中止となつてしまいましたが、会の開催については会社や家庭の状況により不安に思われている方々がおられる一方、開催を心待ちにされている方も多数おります。不安に思われる方々への配慮と、徹底した感染対策・感染状況を見極め、計画だけにとらわれず柔軟な対応で残りの期間、できる限り、会の開催ができるよう努めていきたいとの思ひでおります。

またこのような状況下にもかかわらず、今年度、ムラタ産業(株)・村田氏、(有)松原工業所・松原氏、(株)中村商会・新城氏の三名に新規入会をいただき、大変うれしく思っております。新しい仲間とともに、活動を再開、そして皆と再会できることを願ひ本年が「さいかい」という年になればとの思ひで今年度幹事一同精一杯取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後とも皆様方のご支援・ご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## 組合の会議から

- ◇ 一月
  - 二四日 監査会 正午 (東鉾会館)
- ◇ 二月
  - 二日 理事会 午後六時 (東鉾会館)
  - 十七日 第六十二回通常総会 午後四時 (東鉾会館)
- ◇ 三月
  - 十日 広報委員会 午後六時 (東鉾会館)
  - 十一日 流通経営委員会 午後六時 (東鉾会館)
  - 二十九日 総務委員会 午後六時 (東鉾会館)

## 訃報

中央支部 (株)シンボ 代表取締役 新保良孝様 ご尊父 新保良夫様 (享年八十八歳) 三月十一日に逝去されました 謹んで哀悼の意を表しご報告いたします

## 新組合員紹介

◇山之手支部

### 日本ケミカルスクリーン株式会社

(令和三年十月加入)

代表取締役 判 治 文 雄 氏



この度、山之手支部に入会させていただきました。  
ました。

当社は昭和40年に創業し、おかげさまで創業58年目となります。

プラスチックねじ・プラスチックばねの製造販売を行っております。

令和4年6月完成予定で倉庫拡張を行っており、取り扱い製品や在庫数を増加させ、お客様の求めるニーズや納期に対応していきたいと考えております。

これからは、高強度ボルトの製造・販売等付加価値の高い製品開発にも力を入れていきます。

今後は組合、支部のお役に立てればと思っております。  
どうぞよろしくお願いいたします。



## 情報室

### 事業継承セミナーを受講して

広報委員 大栄工業(株) 大 西 範 彦

2021年8月から12月まで全9回(1回を3時間)の事業継承セミナーを受講して思ったことを後継者の立場で記述させて頂きます。

このセミナーは埼玉県事業継承・引継ぎ支援センターが開催しているセミナーで、「産業競争力強化法」に基づき、さいたま商工会議所が関東経済産業局からの委託を受けて実施している事業になり、受講料やその後の相談料などは国からの補助もあり無料で行われております。また、このセミナーは経営者(社長)が対象では無く、これから事業を引継ぐ後継者や後継者候補の方を対象としているセミナーとなっております。

受講内容は経営後継者の心構え・経営理念・経営戦略・財務分析(キャッシュフロー)・企業価値の向上を題材とし、講師のレクチャーやグループディスカッションを通じて学び、また毎回の題材に沿った課題を宿題として与えられ、最終的には自社の事業継承計画を策定することで今後どのように事業継承を進めるかを明確にすることを目的としています。

私自身あまり事業継承について考えて来ず、何となく経営者(社長)の考えで時期が来れば交代し仕事を引継いでいくものだと思っていましたので、第1回目の講義から自身の考えの甘さに気付くことが多く、グループディスカッションでは漠然とした答えしか発することが出来ませんでした。会社の経営理念や創業者・経営者の想いを十分に理解出来ておらず、そのことについて経営者(社長)と対話をしてこなかったのが原因でした。

講義の中で、事業継承は決算書・貸借対照表では記載されないことをどのように継承していくのが重要であると話がありました(知的

財産の継承)。あなたの会社の強みは何ですかと聞かれ、取引先との信頼関係と答えた受講生に、それは対会社において、資金繰りをしてる経営者(社長)の信頼・信用であり、事業継承後はその強みが弱みに変わる可能性があるという指摘を受けていたことがありました。経営者(社長)の信頼・信用を引継ぐことの難しさや会社の信用とは?を思い知らされたのを覚えています。

会社の5年後・10年後を考えても経営者の思い描くものと後継者が思い描くことで違いがあつて当然ですが、軸となる経営理念や思いの違いがあるようでは対立が生じることがあり、最近での、某大手家具店のように実の親と娘であつても方向性の違いで対立することがあると話がありました。

しかしながら、事業継承は経営者(社長)の理解と協力なしでは進むことは出来ず、事業継承計画を策定するにも経営者の考え方や方向性を明確に示して頂かないと継承する側もどのように考えれば良いかが不明確になります。

経営者(社長)の想いを継承する為には後継者との対話が絶対に必要だと思えます。当時の私は、過去の沿革について詳細の経緯までは知りませんが、過去、経営が厳しい時にどのように会社を守ってきたのかを知りませんでした。過去から現在までを振り返りながら、経営に対する思いや価値観・信条を後継者に伝えることが大切だと思えますし、経営者(社長)の信頼・信用を継承する第一歩であると考えています。

講義では財務分析で数字のことも学ばせて頂きましたが、不勉強で知識が乏しいと思っており、今後の自分自身の課題として勉強する必要があると認識させられました。

この事業継承セミナーを受講して、多くの気付きと自分の至らなさを実感出来たことは私自身にとっては非常に良かったことだと思います。まだまだ、未熟・無知で到底、社長の思う水準に達してないことを実感しておりますが、日々の業務を通じて色んな経験を積んでいければと思っております。

また、東京浜螺協同組合の二世会である泰浜会に入会させて頂いて

おり、同じ世代で私と似たような境遇の方々や、すでに経営者となり活躍されている方々と交流の機会がもて、様々な意見交換をさせて頂いていることは、非常に有意義で励みになることが多くあります。これから時間を掛けて事業継承が出来ることや悩み・困りごとを相談出来る方が多くいる、この恵まれた環境に感謝し今後も精進していきたいと思えます。



## 表紙のことば

### コロナ前の活動に戻りたい

レース中盤から膝が痛み出し、翌日はまともに歩けなかつたです。女房殿は来年は無理、下のクラス30マイル(ピッコロ)にしなさい。と言われました。ピッコロはイタリア語で小です。

ボルト・サトウナベ(株) 佐藤 知志